

資料3

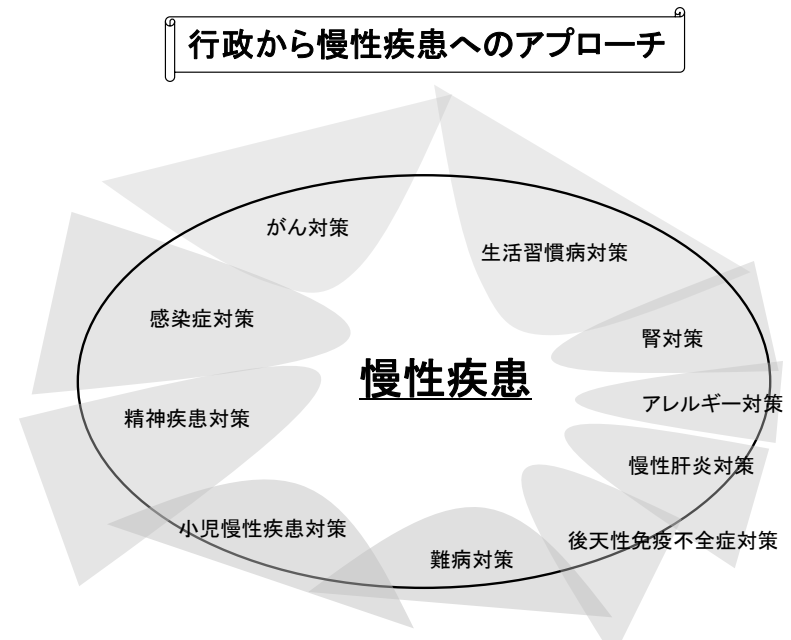
## 行政から慢性疾患へのアプローチ

### 第2回慢性疾患対策の更なる充実に向けた検討会

慶應義塾大学 戸山芳昭

平成21年7月15日

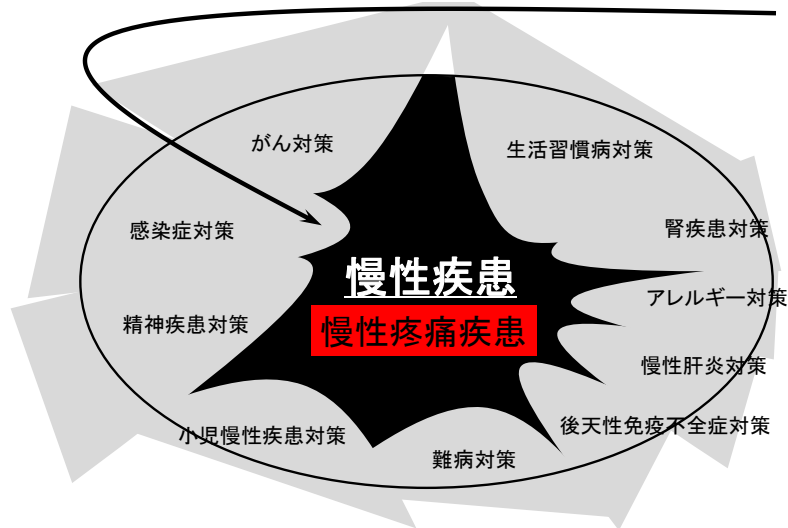
1



2

行政から慢性疾患へのアプローチ

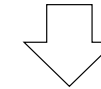
～ 個別の行政施策があまり行われていない領域～



3

“the Decade of Pain Control and Research”  
“痛みの10年” (2001-2010)

- ・ 1998-1999年の全米における実態調査により、程度の高い慢性痛に悩む患者が成人人口の9%を上っていた。
- ・ 無効な治療やドクターショッピングによる医療費の浪費、痛みによる就労困難などによる社会経済の損失は年間約650億ドル(9兆円)と推計された。



2000年、米国議会は

「痛みの10年」(Decade of Pain Control and Research)宣言を採択

- ・ 米国全土にわたる慢性痛の実態調査、痛みの評価と治療基準の作成・実施
- ・ 医師の再教育、痛みを見直す国民週間の設定など
- ・ 痛みを体温、血圧、心拍、呼吸数に続く五つ目のバイタルサインとし、全ての患者に対し、痛みを評価する。

4

愛知医科大学医学部ホームページより引用

## 痛みの定義（国際疼痛学会 1985年）



Descartes, R. (1644)

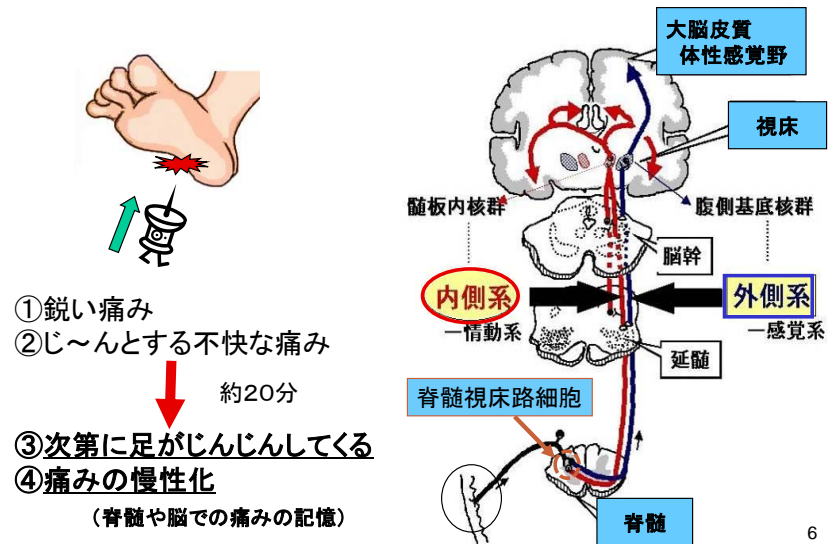
痛みとは組織の実質的あるいは、潜在的な障害に結びつくか、このような障害をあらわす言葉を使って述べられる不快な感覚、情動体験である

慢性疼痛とは

急性疾患の通常経過あるいは創傷の治癒に要する妥当な時間を超えて持続する痛み

5

## 痛みの伝達と慢性化



6